

令和 7 年度（2025 年度）

苫小牧東部開発連絡協議会

総 会 議 案 書

令和6年度（2024年度）事業報告

令和6年度（2024年度）において、本協議会として以下の取組を行った。

【計画推進事業】

1 開発推進に向けた取り組み

（1）中央要望の実施

苫小牧東部地域の開発促進を図るため、基盤整備やプロジェクト等の誘致促進などについて、関係機関が一体となって、道内選出国會議員、国土交通省政務三役等に対し、次のとおり要望を行った。

① 要望内容（※[修正]・[新規]は、令和5年度要望から修正又は新規で追加したもの）

■ 道路の整備促進について

- （1）高規格道路「日高自動車道」の整備促進[修正]
- （2）高規格道路「道央圏連絡道路（国道337号）」の整備促進[修正]

■ 苫小牧港の整備促進と機能強化について

- （1）物流拠点の機能化
東港区周文ふ頭の連続バース化による利便性向上と大規模自然災害等に備えた耐震・防災機能強化のための岸壁整備を促進[修正]
- （2）物流効率化に資する港湾の取組支援
国際コンテナターミナルの荷役作業効率の向上や港湾労働者不足対策に資する遠隔操作RTG（タイヤ式門型クレーン）の寒冷地港湾への導入促進に向けた調査・研究の実施[修正]
- （3）港湾物流のGXの推進
GXに係る港湾施設整備等への国の支援[修正]
- （4）東港区への函館税関苫小牧税関支署のコンテナ検査施設（検査機能）の設置[継続]
- （5）第三セクター（㈱苫東）が行う埠頭（北海道の電力の安定供給を担う石炭船岸壁等）の耐震化等整備に係る補助制度の創設[継続]

■ 域内河川の整備促進について[継続]

■ 早期の公共事業導入による苫東地域関連先行取得用地（二次買収用地）処理の着実な推進について[継続]

■ 各種プロジェクトの導入促進について

<環境・エネルギー>

- （1）苫小牧港西港区に加え、苫東地域におけるCCUS（二酸化炭素回収・利用・貯留）大規模実証試験（メタノール合成やCO₂船舶輸送等）に関連する試験研究施設の整備[継続]
- （2）CO₂を利用した持続可能な航空燃料（SAF）の製造から消費までの実証の実施（R3年度人工光合成技術を用いた電解による地域のCO₂資源化検討事業等）を苫東地域で行うこと[修正]
- （3）次世代自動車の普及に向けた取組の推進
蓄電池の大規模製造拠点の国内立地や水素ステーション・充電設備等に関わる技術の開

発と実証における苫東地域の活用[継続]

(4) 国が策定した「苫東GX HUB構想」を踏まえ、水素・アンモニアの低コスト化に向けた製造・輸送・貯蔵・発電等に関わる技術の開発と港湾を活用した実証事業の実施及び国際競争力ある産業集積を促す拠点の整備[修正]

(5) 苫東地域の活性化につなげるため、北極海航路利活用の推進に向けた北極域研究を推進すること[修正]

<強靱な国土づくり>

(6) バックアップ拠点の形成に向けた食糧やエネルギー等の貯蔵・供給機能の強化による大規模災害支援拠点の整備の検討[修正]

<食関連産業の創出>

(7) 「苫小牧東部開発新計画の進め方【第3期】」に掲げる、高付加価値の健康食品や漢方・医薬品関連産業分野における多様なプロジェクトの誘致及び誘致への支援[修正]

(8) フードコンプレックスの形成に向けた食関連産業等の民間プロジェクトの誘致及び誘致への支援[修正]

<デジタルインフラの整備促進>

(9) 民間のデータセンター等の地方分散における苫東地域の更なる活用及びデータセンター事業や海底ケーブル陸揚げ局について、利子補給金の目的使用となるよう対象業種の見直し [修正]

(10) 苫東地域への大規模データセンターの集積に向けた、北海道と海外、本州を結ぶ光海底ケーブルの整備への支援[修正]

(11) 自動運転の積雪寒冷地対応に向けた、道路インフラ等の路車間協調を含む研究開発や予防安全性能評価の拠点となる実証試験施設の整備[修正]

(12) 農林水産業をはじめとする担い手不足を補い、競争力を強化していくための省力化・軽労化や精密化・情報化を進めるロボット・ドローンの研究開発基盤の形成に必要な実証実験フィールドの整備[修正]

■ 再生可能エネルギーの導入拡大を促す送電網等の基盤整備の増強や補助制度等の拡充について

(1) 北本連系線はもとより、新たな海底送電ケーブルの整備による送電網等の電力基盤の増強や発電量の変動を調整する蓄電技術の導入促進等の基盤整備 [継続]

(2) 本道における出力変動緩和要件撤廃後、想定される自然変動電源の制御に係る取り組みについては、個別発電事業者の負担を最小限度にとどめること。[継続]

(3) 自営線を活用するオフサイトコーポレートPPA事業に関する補助制度の拡充
・太陽光発電設備や蓄電池の関連設備の補助対象への追加 [継続]

(4) 脱炭素燃料の需要拡大を図るため、産業部門における設備導入への支援制度の拡充 [新規]

■ 地域拠点の形成に向けた三大都市圏の事業所の地方移転の促進について[継続]

② 実施内容

○令和6年(2024年)7月23日(火)

要望先	参議院議員 高橋 はるみ
実施方法	事務局職員が議員会館を訪問し要望書を交付

○令和6年(2024年)7月24日(水)

要望先	道内選出国會議員 32 名
実施方法	事務局職員が議員会館を訪問し要望書を交付

要望先	国土交通省(北海道局、港湾局)		
実施方法	手交		
対応	(面談) 北海道局長、北海道局官房審議官、港湾局官房技術参事官他		
参加者	北海道	副知事	三橋 剛
	苫小牧市	副市長	山本 俊介
	安平町	町長	及川 秀一郎
	厚真町	副町長	西野 和博
	苫小牧港管理組合	専任副管理者	佐々木 秀郎
	株式会社苫東	代表取締役社長	辻 泰弘
	苫小牧港開発株式会社	代表取締役社長	関根 久修

○令和6年(2024年)7月25日(木)

要望先	関係9府省庁事務次官・審議官・局長・課長等、計246名
実施方法	郵送 ※北海道局、港湾局分はすべて持参

(2) 基盤整備に関する情報収集等

国鉄日高線の移設のため、昭和53年から昭和58年に先行取得した二次買収用地の処理に関連し、基盤整備事業に係る情報収集等を行った。

○2月「二次買収用地土地利用等推進協議」の開催

- ・国と二次買収用地の現状と課題に係る意見交換(対面開催)

2 プロジェクト導入に向けた調査・検討

苫東推進担当者会議(五者会議)幹事会

○第1回

- ・日時: 令和6年(2024年)5月21日(火)
- ・場所: 北海道開発局 研修センター
- ・議題: 苫小牧東部開発新計画の進め方【第3期】の進捗状況
苫東 GX HUB 構想実現に向けた取り組み
苫小牧東部開発新計画、段階計画の評価・検討

○第2回

- ・日時: 令和7年(2025年)2月19日(水)
- ・場所: 札幌第1合同庁舎 6階南側共用会議室
- ・議題: 苫小牧東部開発新計画の進め方【第3期】の評価・検討について
第30回苫小牧東部開発連絡協議会幹事会報告
令和7年度年間スケジュール(予定)

○苫東評価・検討WGをオンラインで2回開催

【企業誘致事業】

1 展示会への出展

苫小牧港の充実した物流機能や北米に最も近い地理的優位性、カーボンニュートラルに対応した取組など、苫東地域のPRを行った。

	国際物流総合展 2024	スマートエネルギーWeek
日 時	令和6年(2024年) 9月10日(火)～13日(金)	令和7年(2025年) 2月19日(水)～2月21日(金)
場 所	東京ビッグサイト	東京ビッグサイト
共同出展者	苫小牧地区企業誘致連絡協議会 苫小牧港利用促進協議会 北海道電力ネットワーク株式会社	苫小牧地区企業誘致連絡協議会 苫小牧 CCUS・ゼロカーボン推進協議会 日本 CCS 調査株式会社 北海道電力ネットワーク株式会社
出展内容	ポスター・パネル展示、DVDの放映、ノベルティ・パンフレットの配布	
訪問者数	222名	183名
備 考	苫東地域に関心を示した企業を中心に情報提供やフォローアップを行った。	苫東地域に関心を示した企業を中心に情報提供やフォローアップを行うとともに、「令和5年度苫小牧東部地域におけるカーボンニュートラルの推進等に関する調査業務」で策定した「苫東 GXHAB 構想」をPRした。

2 地元高校を対象とした苫東視察見学会

(1) 厚真高等学校

- ①実施 日：令和6年(2024年)10月17日(木)
- ②視 察 先：いすゞエンジン製造北海道(株)、(株)ダイナックス
- ③参加人数：24名

(2) 苫小牧工業高等学校

- ①実施 日：令和6年(2024年)10月22日(火)
- ②視 察 先：いすゞエンジン製造北海道(株)、アイシン北海道(株)
- ③参加人数：39名

(3) 見学会参加者就職状況

実施年度	参加者数	苫東事業所 就職者数	うち視察先 就職者	就職先事業所 ※視察先事業所
H26	25	1	0	苫東コールセンター(株)
H27	23	1	0	北海道ガス(株)
H28	126	4	1	新日本海フェリー(株) アイシン北海道(株) 北海道ガス(株) 北海道石油共同備蓄(株) ※

H29	120	10	1	アイシン北海道(株) (2) 北海道石油共同備蓄(株) 第一金属(株) (2) (株)ダイナックス (3) 北海道パワーエンジニアリング(株) (株)ダイナックス ※
H30	34	1	0	北海道パワーエンジニアリング(株)
R1	133	6	2	アイシン北海道(株) (2) ※ 北海道パワーエンジニアリング(株) 北星産業(株)北海道事業所 ※ (株)ダイナックス 第一金属(株)
R2	37	4	0	北海道石油共同備蓄(株)北海道事業所(2) アイシン北海道 (株) (株)ダイナックス
R3	69	9	1	(株)ダイナックス ※ (株)カネカ 第一金属(株) (2) アイシン北海道(株) (3) いすゞエンジン製造北海道(株) (2)
R4	79	3	1	アイシン北海道(株) (2) いすゞエンジン製造北海道(株)※
R5	122	3	1	アイシン北海道(株)※ 苫小牧埠頭株式会社 (2)
R6	61	—	—	
合 計	829	42	7	

3 広報活動の実施

道庁道民ホールにおいて苫小牧東部地域開発展を開催し、苫東紹介パネルやフォトコンテストの入賞作品の展示を行った。

- ・実施日：令和6年（2024年）9月2日（月）～3日（火）
- ・来場者数：計196名

4 「企業立地セミナー」への参加

北海道企業誘致推進会議が主催する「企業立地セミナー」に参加・協力し、苫東地域のPRを行った。

- ・北海道企業立地セミナー（11/19 東京都）
- ・北海道企業立地セミナー（2/6 愛知県）
- ・北海道企業立地セミナー（2/13 大阪府）

【総会・幹事会等の開催】

1 幹事会

○第1回幹事会（5月 書面開催）

（議 題）

- ・令和6年度（2024年度）苫小牧東部開発連絡協議会総会提出議案について

2 総会

○令和6年度通常総会（6月 現地開催）

（議 題）

- ・令和5年度（2023年度）事業報告、収支決算について
- ・令和6年度（2024年度）事業計画（案）、収支予算（案）について

議案第 2 号

令和 6 年度(2024年度)収支決算

(1) 収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額 A	決 算 額 B	差 引 額 B - A	摘 要
負担金	563,000	563,000	0	北海道 103,000 苫小牧市 59,000 安平町 12,000 厚真町 12,000 苫小牧港管理組合 38,000 (株)苫東 236,000 苫小牧港開発(株) 103,000
雑収入	9	273	264	預金利息
繰越金	1,045,232	1,045,232	0	
計	1,608,241	1,608,505	264	

(2) 支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額 A	決 算 額 B	差 引 額 A - B	摘 要
計画推進事業費	50,000	41,550	8,450	
中央要望	50,000	41,550	8,450	要望書作成、郵送費
企業誘致事業費	670,000	711,329	▲ 41,329	
展示会出展	500,000	531,613	▲ 31,613	国際物流総合展2024 1,594,839円(全体費用)
視察見学会	170,000	179,716	▲ 9,716	苫東視察見学会
事務局費	888,241	12,656	875,585	
事務費	100,000	12,656	87,344	協議会封筒作成、会場費他
予備費	788,241	0	788,241	
計	1,608,241	765,535	842,706	

収 入 額	1,608,505
－ 支 出 額	765,535
差 引 額	842,970 (令和7年度(2025年度)に繰越)

令和7年度(2025年度)事業計画(案)

【計画推進事業】

1 開発推進に向けた取り組み

(1) 中央要望の実施

道路、港湾など苫東地域の機能性や利便性の向上を図るための基盤整備の促進や苫東地域の優れた立地環境を活かしたプロジェクトの導入など、関係機関が一体となって、関係省庁及び道内選出国會議員に対する要望活動を行う。

要望時期：7月24日(木)(予定)

要望先：関係府省政務三役、道内選出国會議員等

要望内容：各機関と調整を図る

(2) 基盤整備に関する情報収集等

国鉄日高線の移設のため、昭和53年から昭和58年に先行取得した二次買収用地の処理に関連する各種情報の収集や国との協議を行う。

2 プロジェクト導入に向けた検討等

「苫小牧東部開発新計画の進め方【第3期】」に基づく開発を着実に推進するため、苫東推進担当者会議(五者会議)幹事会と連携し、地元関係機関と協議・調整を図りながら、従前からの食関連や災害支援のための拠点の整備に加え、特に国が進めている「2050年カーボンニュートラル」に伴う「グリーン成長戦略」に掲げる各種プロジェクトの誘致を図るための協議・調整を行う。また、国が策定した「苫東GX HUB構想」の実現に向けて、カーボンニュートラルに向けた各企業の取組を促進する。

【企業誘致事業】

1 企業誘致への基本方針

最近の苫東地域の立地動向は、エネルギーや物流関連産業に加え、医療関連産業など多様な産業の集積が進みつつある。

本道の立地動向や、地域未来投資促進法の基本計画、「苫小牧東部開発新計画の進め方【第3期】」を踏まえ、苫東開発が育んできた産業活動と自然環境との共生をはじめとした先駆的な取組など、苫東開発の独自性、優位性のより積極的な発信に努め、関係機関と緊密に連携しながら、企業誘致に取り組むこととする。

とりわけ、GX関連産業や半導体・データセンター等のデジタル関連産業、医療関連産業のほか、高度な物流機能と食品加工機能を備えた食産業基地の形成に向けて食関連産業の誘致に取り組むこととする。

2 最近の主な分譲状況及び立地企業の動き

- (1) 最近の主な分譲状況
(非公表)

3 具体的な誘致活動

- (1) 各種展示会への出展

	国際物流総合展 2025	スマートエネルギーWeek
日 程	令和7年(2025年)9月10日(水)～12日(金)	令和8年(2026年)3月17日(火)～19日(木)
場 所	東京ビッグサイト	東京ビッグサイト
出展内容	・2小間(申込済み) ・ポスター・パネルの展示 ・パンフレット・ノベルティ等の配布 ・アンケートの実施	・1小間(申込済み) ・ポスター・パネルの展示 ・パンフレット・ノベルティ等の配布
共 同 出 展 者	・苫小牧地区企業誘致連絡協議会 ・苫小牧港利用促進協議会	・苫小牧地区企業誘致連絡協議会 ・苫小牧 CCUS・ゼロカーボン推進協議会 ・日本 CCS 調査(株)

- (2) 企業立地に向けた取組

国際物流総合展などでのPR活動やアンケート調査をもとに、個別企業訪問に繋げるとともに今後の企業誘致活動のデータを蓄積する。

- ① アンケート調査の実施

出展展示会において、当協議会の出展ブースの来訪者等を対象に、企業立地動向等に関するアンケート調査を行う。

- ② 企業等に対する情報提供

苫小牧地域(苫東地域を含む)に関心を示した企業に対するフォローとして、再度のアンケート調査や地域の詳細情報の提供を行う。

- ③ 企業訪問の実施

苫小牧地域(苫東地域を含む)への投資意欲のある企業を中心に、関係機関と緊密に連携しながら、個別企業訪問や更なる情報収集を行う。

- (3) 苫小牧高専及び地元高校を対象とした苫東視察見学会

苫小牧高専及び地元高校と苫東地域に立地する企業の連携を深めるため、苫東視察見学会を実施し、産学連携や人材確保に繋げる。

- ▷ 対象校：苫小牧工業高等専門学校、北海道追分高等学校の計2校

(令和8年度(予定)：北海道苫小牧工業高等学校、北海道厚真高等学校の計2校)

- ▷ 内 容：苫東地域内の工場見学及び意見交換会(各2社程度)

- (4) その他

- ① 広報活動の実施

道政広報コーナー等を活用し、フォトコンテスト入賞作品の展示を実施するとともに苫東地

域の紹介パンフレット等を配布し、苫東地域及び周辺環境のPRを行う。

・実施予定日：8月20日（水）、21日（木）

② 「企業立地セミナー」への協力

北海道企業誘致推進会議が主催する「企業立地セミナー」に当協議会構成機関が参加し、苫東地域及び周辺環境のPRを行う。

議案第 4 号

令和 7 年度(2025年度)収支予算（案）

（１）収入の部

（単位：円）

科 目	予 算 額 A	前年度予算額 B	差 引 額 A－B	摘 要
負担金	563,000	563,000	0	北海道 103,000 苫小牧市 59,000 安平町 12,000 厚真町 12,000 苫小牧港管理組合 38,000 ㈱苫東 236,000 苫小牧港開発㈱ 103,000
雑収入	273	9	264	預金利息
繰越金	842,970	1,045,232	▲ 202,262	
計	1,406,243	1,608,241	▲ 201,998	

（２）支出の部

（単位：円）

科 目	予 算 額 A	前年度予算額 B	差 引 額 A－B	摘 要
計画推進事業費	50,000	50,000	0	
中央要望	50,000	50,000	0	要望書作成、郵送費
企業誘致事業費	720,000	670,000	50,000	
展示会出展	540,000	500,000	40,000	国際物流総合展、スマートエネルギーWeek
視察見学会	180,000	170,000	10,000	苫東視察見学会
事務局費	636,243	888,241	▲ 251,998	
事務費	100,000	100,000	0	
予備費	536,243	788,241	▲ 251,998	
計	1,406,243	1,608,241	▲ 201,998	